

## 平成 2 3 年三条市議会第 4 回定例会請願文書表

受理番号	第 19 号	受理年月日	平成 2 3 年 9 月 9 日
件名	消費税の増税は行わないことを求める請願		
紹介議員	小 林 誠 君		
請 願 文			
<p><b>【請 願 理 由】</b></p> <p>政府は、6月30日、2010年代半ばまでに段階的に消費税率を10%まで引き上げることを明記した社会保障・税一体改革成案をまとめました。その内容は、社会保障のためとしながら医療費の窓口負担の引き上げ、年金の支給開始年齢の引き上げなど社会保障の切り下げと一体のものです。7月の共同通信の世論調査結果では、一体改革に賛成よりも反対が上回ったことに表れているように、国民世論は庶民の負担増につながる消費税の増税を容認していません。</p> <p>消費税は、所得の低い人ほど負担が重い不公平な税金です。東日本大震災で被災された方々にも容赦なくのしかかり、家や工場などを失った被災者の生活再建に大きな負担を強いることとなります。弱いものに負担を強いる消費税は、社会保障の財源として最もふさわしくありません。</p> <p>また、消費税が増税されれば、1997年、3%から5%への消費税増税で、好転していた日本経済が大きな不況に陥ったように、国民の消費は落ち込み、地域経済は大きな打撃を受けます。</p> <p>今後の少子高齢化社会を踏まえ、社会保障財源の確保及び国の財政を再建するには、税金の使い方を改革し、不要不急の予算を削減するなど、税金の使い道を福祉と国民の暮らし優先に変えていくことが必要です。</p> <p>ついては、貴議会において、次の事項を求める意見書を国に提出して下さるよう請願いたします。</p> <p><b>【請 願 事 項】</b></p> <p>1 消費税の増税は行わないこと。</p>			

付託委員会

総務文教常任委員会